

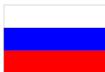
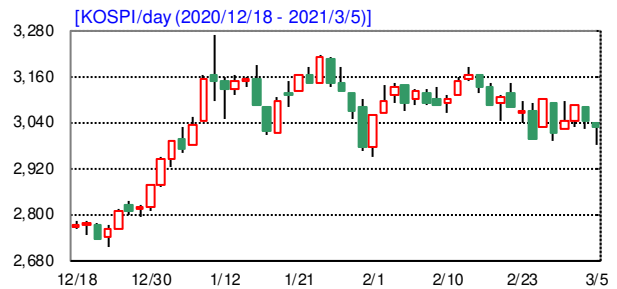


## 【韓国】 総合指数は週間で0.4%高と反落、今週も米長期金利に注目

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.4%高と反落。1日が三一節で休場のため4日間の取引だった。連休中に米国やアジアの株式市場が上昇し、出遅れ感から連休明けは買い戻しが優勢。米長期金利の上昇が一服したことや、半導体需要の拡大見通しを受けてSKハイニックスなどハイテク株が大きく買われた。一方、週後半は米長期金利が再び上昇したことが地合いを悪化させ、ハイテク株の売りが膨らんだ。5日終値は2月26日以来、約1週間ぶり安値。ただ、韓国で新型コロナワクチン接種が進むことへの期待が下値を支え、5日の取引時間中は節目の3000ポイントを割り込む場面もあったものの、この水準を守って取引を終えた。今週も米長期金利やハイテク株の動きをにらんだ神経質な展開か。国内では9日に1月の経常収支が発表される。

▼指数チャート

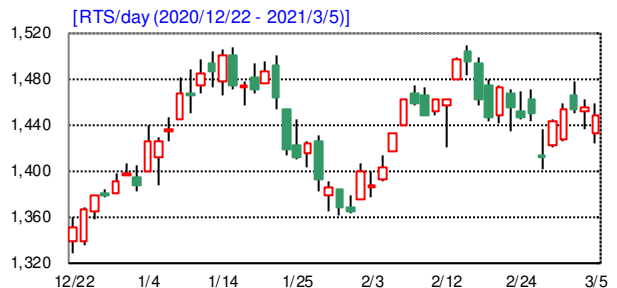


## 【ロシア】 RTS 指数は週間で2.5%高と反発、今週も原油価格の動向が焦点に

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で2.5%高と反発。前週の大幅安の反動や海外株高、原油相場の上昇が追い風となった。週明け1日は前営業日比2.2%高と大幅高。前週に4%超下落した反動に加え、金利上昇の一服を好感した米株高が追い風となった。週半ば以降に原油相場が上昇したことも好材料で、指数は4日まで4日続伸。3日には一時、2週間ぶりの高値をつけた。5日は反落したが、下げ幅は限定的だった。ブレント原油は週間で4.9%高と大幅に7週続伸している。個別では、ルクオイルが11.8%高、ノバテックが9.3%高、タトネフチが8.6%高、ロスネフチが7.2%高とエネルギー株が軒並み大幅に上昇。時価総額最大のズベルバンク・オブ・ロシアが2.7%高となり、指数を押し上げた。今週も先週に続き原油相場の動向が焦点か。

▼指数チャート



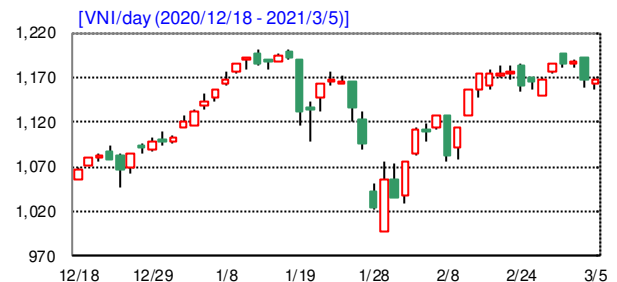
## 【ベトナム】 ベトナム指数は0.02%高とわずかながら反発 今週は上値の重い展開か

### 開か

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で0.02%高とわずかながら反発。週初に上昇したものの、海外投資家の売りが重しとなり、伸び悩んだ。週明け1日は不動産株などが買われ、VN 指数は前営業日比1.5%高と大きく上昇。2-3日はほぼ横ばいで推移したが、4日に海外投資家の売りなどが響き、指数は前日比1.6%安と大幅に反落。5日はほぼ横ばいで取引を終え、週間ではわずかながら上昇した。VN 指数は2日の場中に1196.16ポイントと1月18日以来の水準まで上昇したが、勢いは続かなかった。個別では、エネルギーのペトロベトナム・ガスが3.6%高、金融のベトインバンクが2.0%高となった一方、飲料のサイゴンビール・アルコール飲料が5.4%安、金融のベトナム投資開発銀行が2.8%安と指数の重しとなった。今週は上値の重い展開か。

▼指数チャート

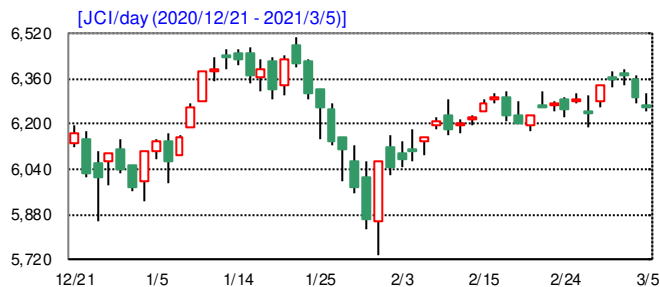


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.3% 高、米長期金利の再上昇で週後半は軟調な値動き**

ジャカルタ総合指数は週間で 0.3% 高と 5 週続伸。週後半の下落が上昇幅を縮めた。週初の 1 日は、米長期金利の急上昇が一服した効果で買われ、指数は前営業日比 1.5% 高と終値で約 5 週間ぶりに 6300 ポイントを回復。その後も世界的な景気回復期待を受けて 3 日まで 3 日続伸したが、4 日は米長期金利が再び上昇した影響で売られ、前日比 1.3% 安と反落した。5 日はパウエル FRB 議長が長期金利の上昇を静観する姿勢を示し、前日の NY ダウが下落した流れで続落している。今週は国内の経済イベントが少なく、前週に続き米金融市場の動向に左右される展開か。11 日はムハンマド昇天祭のため休場となる。

### ▼指数チャート

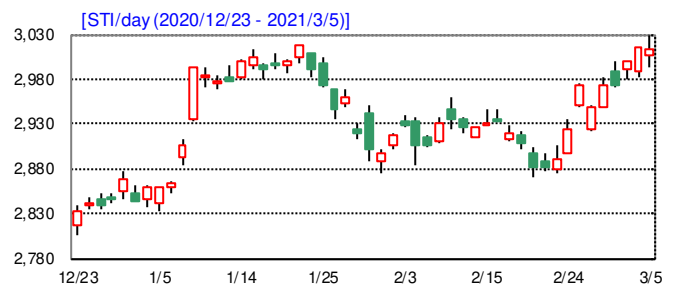


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 2.2% 高、6 週間ぶりに終値で 3000 ポイントを回復**

ストレーツタイムズ指数は週間で 2.2% 高と続伸。じりじりと上値を広げた 1 週間だった。週初の 1 日は、前週末に米国でジョンソン・エンド・ジョンソンが開発したワクチンの緊急使用が承認された効果などで反発。3 日は前日の取引終了後に発表された 2 月の製造業 PMI が 50.5 と前月を小幅に下回ったものの影響は軽微で、指数は終値で約 6 週間ぶりに 3000 ポイント台に到達した。4 日も買い優勢の展開が続いたが、5 日は前日の NY ダウが下落したほか、1 月の小売売上高が市場予想から下振れした影響で 5 日ぶりに小幅反落している。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因が指数を左右しそうだ。

### ▼指数チャート



## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 3.2% 高、OPEC プラスの協調減産延長を好感**

SET 指数は週間で 3.2% 高と 3 週ぶりに反発。1 週間を通じて終値で 1500 ポイント台を維持した。連休明けの 1 日は、前日に新型コロナウイルスワクチンの接種が始まったことなどが好感され、指数は続伸。好地合いの中、3 日は「OPEC プラス」の会合を翌日に控え、協調減産規模の現状維持に対する期待が高まり、指数は前日比 2.7% 高と 4 日続伸した。4 日は米長期金利の再上昇が嫌気されて反落したが、5 日は協調減産を 4 月まで延長する決定を受けて原油価格が上昇した効果でエネルギー株が買われ、反発して引けている。今週は前週末の NY ダウが米雇用統計の好調で上昇した流れを引き継ぐ展開か。

### ▼指数チャート

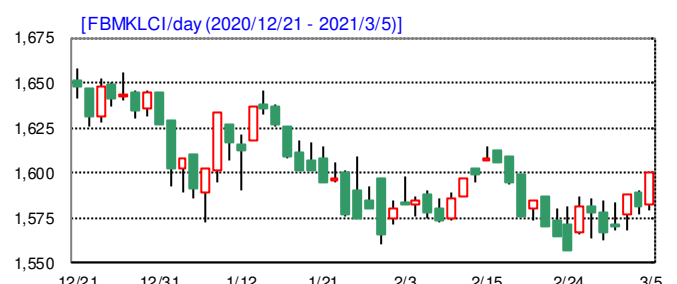


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.4% 高、今週は 12 日に 1 月の鉱工業生産発表**

クアラルンプール総合指数は週間で 1.4% 高と 3 週ぶりに反発。週末の反発が奏功した。1 日はスーパーマックス・コーポレーションなどゴム手袋メーカー 3 社が指数下落を主導。一方、2 日は前日の NY ダウが大幅上昇した流れで反発すると、3 日はゴム手袋メーカー株が値ごろ感から買い戻され、指数は前日比 1.2% 高と続伸した。4 日は引き下げ観測が浮上していた政策金利について、中央銀行が据え置きを決定したことで金融株が買われたものの、米長期金利が再上昇した影響で指数は反落。ただ、5 日は前日比 1.2% 高と終値で 1600 ポイントを回復している。今週は 12 日に 1 月の鉱工業生産が発表される予定。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。